



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月1日

上場会社名 株式会社 タクミナ

上場取引所 東

コード番号 6322 URL <https://www.tacmina.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 信彦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 吉田 裕

TEL 06-6208-3971

四半期報告書提出予定日 2019年11月5日

配当支払開始予定日

2019年11月29日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	4,122	3.9	500	19.5	515	18.9	354	19.6
2019年3月期第2四半期	4,289	16.3	621	97.7	635	88.5	440	77.3

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 365百万円 (9.4%) 2019年3月期第2四半期 404百万円 (43.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	49.33	
2019年3月期第2四半期	61.32	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	10,668	6,988	65.5	972.61
2019年3月期	11,020	6,873	62.4	956.70

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 6,988百万円 2019年3月期 6,873百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		10.00		35.00	45.00
2020年3月期		20.00			
2020年3月期(予想)				25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	1.8	1,220	13.9	1,240	13.9	910	10.6	126.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	7,728,540 株	2019年3月期	7,728,540 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	543,726 株	2019年3月期	543,706 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	7,184,818 株	2019年3月期2Q	7,185,101 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
3. その他	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善を背景として、緩やかな回復基調が継続しました。一方、海外では、米中貿易摩擦の長期化や中国経済の減速懸念、英国のEU離脱問題など世界経済の不確実性の影響により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループを取り巻く受注環境は、企業の設備投資計画に慎重な姿勢が見られ、中でも海外向けは、韓国企業の設備投資が一服したことにより、低調な結果となりました。

主な品目別販売実績は、以下のとおりです。

定量ポンプの国内市場は増収となりました。主力の「スムーズフローポンプ」は食品・飲料業界向けをはじめ、二次電池・積層セラミックコンデンサ市場やファインケミカル、製鉄業界向けでも堅調に推移しましたが、汎用モーターポンプは、前期に活発であった滅菌・殺菌市場の需要に減速感があり、数字を落としました。

海外市場は、前期の大型投資の反動で減収となりました。期初の見込み通り、韓国の二次電池業界における設備投資の動きが一服し、「スムーズフローポンプ」の売上が減少したほか、米国でもソレノイドポンプ及び汎用モーターポンプの販売が低迷し、前年同四半期を下回りました。

微量制御型スムーズフローの「Qシリーズ」は、2015年の発売開始以来、新たなお客様との出会いを創出し、ユーザーの要求に応えラインナップを拡充したことにより、幅広い用途で評価をいただけるようになりました。実験・ラボ段階から本ラインへのスケールアップによる「スムーズフローポンプ」の販売に繋がり、今後の業績貢献が期待されます。

ケミカル移送ポンプは、「ムンシュポンプ（高耐食ポンプ）」が国内外の製鉄プラント向けで好調に推移し、売上を伸ばしました。

計測機器・装置は、水処理設備向けで「pH中和処理装置」の大型物件や設備更新案件などを受注したことにより、前年同四半期を上回りました。

流体機器及びケミカルタンクは、多くの業界向けで、売上が伸び悩みました。

以上の結果、売上高は、41億22百万円（前年同四半期比3.9%減）と減少しました。利益面につきましては、原価率が上昇したほか、減収要因が大きく響き、売上総利益は、18億61百万円（同5.1%減）と減少しました。また、事業体制の強化に伴う人件費の増加により販売費及び一般管理費が増加し、営業利益は、5億円（同19.5%減）、経常利益は、5億15百万円（同18.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、3億54百万円（同19.6%減）とそれぞれ減益となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて3億51百万円減少し、106億68百万円となりました。

流動資産は4億92百万円減少し、64億78百万円となりました。主な増減内訳は、現金及び預金の増加1億44百万円、売上債権の減少6億23百万円であります。

固定資産は1億40百万円増加し、41億90百万円となりました。主な増加内訳は、無形固定資産の増加12百万円、投資その他の資産の増加1億29百万円であります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて4億65百万円減少し、36億80百万円となりました。

流動負債は6億77百万円減少し、25億26百万円となりました。主な減少内訳は、仕入債務の減少1億77百万円、短期借入金の減少2億15百万円、未払法人税等の減少1億73百万円であります。

固定負債は2億11百万円増加し、11億54百万円となりました。主な増加内訳は、長期借入金の増加2億円であります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて1億14百万円増加し、69億88百万円となりました。主な増加内訳は、親会社株主に帰属する四半期純利益3億54百万円から配当金2億51百万円の支払いを差し引いた利益剰余金の増加1億2百万円、その他有価証券評価差額金の増加19百万円であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の62.4%から65.5%へと3.1ポイント上昇いたしました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月8日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました、通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,937,437	2,082,286
受取手形及び売掛金	3,894,188	3,271,049
商品及び製品	89,310	123,123
仕掛品	8,315	4,121
原材料及び貯蔵品	1,002,699	974,143
その他	41,459	26,103
貸倒引当金	△3,018	△2,601
流動資産合計	6,970,393	6,478,225
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,496,229	1,475,876
その他（純額）	921,968	941,288
有形固定資産合計	2,418,198	2,417,164
無形固定資産		
108,222	120,224	
投資その他の資産		
投資有価証券	873,736	1,001,512
その他	650,933	651,794
貸倒引当金	△1,190	—
投資その他の資産合計	1,523,479	1,653,307
固定資産合計	4,049,899	4,190,696
資産合計	11,020,292	10,668,922
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,629,756	1,452,200
短期借入金	455,324	240,000
未払法人税等	355,747	181,981
賞与引当金	260,000	248,000
その他	503,369	404,488
流動負債合計	3,204,197	2,526,670
固定負債		
長期借入金	—	200,000
退職給付に係る負債	716,464	729,016
その他	225,882	225,230
固定負債合計	942,346	1,154,247
負債合計	4,146,543	3,680,917
純資産の部		
株主資本		
資本金	892,998	892,998
資本剰余金	730,599	730,599
利益剰余金	5,426,350	5,529,162
自己株式	△322,333	△322,371
株主資本合計	6,727,615	6,830,389
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	180,180	200,096
繰延ヘッジ損益	243	△195
土地再評価差額金	2,853	2,853
為替換算調整勘定	15,438	3,483
退職給付に係る調整累計額	△52,581	△48,623
その他の包括利益累計額合計	146,133	157,615
純資産合計	6,873,749	6,988,004
負債純資産合計	11,020,292	10,668,922

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）
売上高	4,289,183	4,122,560
売上原価	2,328,946	2,261,399
売上総利益	1,960,236	1,861,160
販売費及び一般管理費	1,338,355	1,360,746
営業利益	621,881	500,414
営業外収益		
受取利息	1,596	4,621
受取配当金	7,808	7,956
持分法による投資利益	876	1,317
為替差益	—	1,823
その他	12,373	5,231
営業外収益合計	22,654	20,950
営業外費用		
支払利息	1,348	922
売上割引	3,253	3,988
為替差損	526	—
寄付金	3,000	—
その他	805	1,198
営業外費用合計	8,934	6,109
経常利益	635,601	515,255
特別損失		
固定資産除却損	2,805	—
特別損失合計	2,805	—
税金等調整前四半期純利益	632,795	515,255
法人税等	192,195	160,817
四半期純利益	440,600	354,438
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	440,600	354,438

（四半期連結包括利益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）
四半期純利益	440,600	354,438
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32,175	19,916
繰延ヘッジ損益	525	△438
為替換算調整勘定	△9,618	△11,954
退職給付に係る調整額	4,671	3,958
その他の包括利益合計	△36,596	11,481
四半期包括利益	404,003	365,919
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	404,003	365,919
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

3. その他

(1)売上高

(単位：百万円)

品目	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
定量ポンプ	2,603	60.7%	2,400	58.2%	△203	△7.8%
ケミカル移送ポンプ	373	8.7%	389	9.5%	15	4.2%
計測機器・装置	649	15.1%	693	16.8%	44	6.8%
流体機器	216	5.1%	195	4.7%	△21	△9.7%
ケミカルタンク	287	6.7%	283	6.9%	△4	△1.5%
その他	158	3.7%	160	3.9%	1	1.2%
合計 (うち海外)	4,289 (569)	100.0% (13.3%)	4,122 (331)	100.0% (8.0%)	△166 (△238)	△3.9% (△41.9%)

(2)受注高及び受注残高

(単位：百万円)

品目	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)		増減		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	
受注高	定量ポンプ	2,897	61.9%	2,557	58.8%	△339	△11.7%
	ケミカル移送ポンプ	412	8.8%	372	8.6%	△40	△9.7%
	計測機器・装置	691	14.8%	717	16.5%	26	3.8%
	流体機器	214	4.6%	249	5.7%	35	16.4%
	ケミカルタンク	297	6.3%	289	6.6%	△8	△2.8%
	その他	170	3.6%	164	3.8%	△5	△3.3%
	合計 (うち海外)	4,683 (716)	100.0% (15.3%)	4,351 (555)	100.0% (12.8%)	△331 (△161)	△7.1% (△22.5%)
受注残高	定量ポンプ	904	64.2%	601	52.4%	△302	△33.5%
	ケミカル移送ポンプ	112	8.0%	147	12.8%	34	30.9%
	計測機器・装置	227	16.1%	214	18.7%	△13	△5.7%
	流体機器	57	4.1%	106	9.3%	48	84.5%
	ケミカルタンク	77	5.5%	49	4.3%	△27	△35.6%
	その他	29	2.1%	28	2.5%	△0	△3.0%
	合計 (うち海外)	1,408 (451)	100.0% (32.1%)	1,148 (291)	100.0% (25.4%)	△260 (△160)	△18.5% (△35.5%)